

宮下裕美子議員活動記録 (2007.8.1 ~ 9.30)

月	日	項目	分類	会場	内容
8	10	総務民教常任委員会		委員会室	所管事務調査、現地視察
	13	産業建設常任委員会		委員会室	所管事務調査、現地視察
	18	町内5団体対抗パークゴルフ大会		皆楽公園	農協、商工会、農業委、土地改良区、議会
	22	土地開発公社理事会		一(書面)	定款の変更
	25	地方自治土曜講座(第4回)		札幌市	テーマ「財政危機からの脱出と地域再生」
		樺戸神社秋季例大祭カラオケ大会		樺戸神社	出演
	26	月形消防演習		月小グランド	
	28	議員会主催・議員研修会		月形町役場	講演「地球温暖化を防止するために」 講師 平尾元一氏
9	1	ちらいおつ遊び塾開所式		旧知来乙小	
	3	樺戸監獄物故者追悼式		福祉センター	追悼式、現地見学
	8	月形中学校60周年記念学校祭		月形中	
	9	つきがた産業まつり		役場駐車場	
	11	議員協議会		議員控室	議員活動(公式)の報告、他
		定例会(平成19年第3回)		本会議場	一般質問、議案の議決他
	12	決算特別委員会		本会議場	平成18年度決算審議(一般会計・歳出)
		札比内神社祭		札比内神社	
	13	決算特別委員会		本会議場	平成18年度決算(一般会計歳入、特別会計)
		議員協議会		議員控室	議会活動に関する事項
	14	決算特別委員会・定例会		本会議場	平成18年度決算(総括質疑)意見案提出他
		議員協議会		議員控室	議会運営に関する事項
	16	雪の聖母園祭		雪の聖母園	
	21	全道へき地複式教育研究大会		札比内小	公開授業、研究発表の見学
22	地方自治土曜講座(第5回)		札幌市	テーマ「格差社会を超える」	
27	校内研究授業		月形小	授業見学	

分類 : 議会活動 : 議員活動(公式) : 議員活動(個人) : 議員会活動(親睦団体)
 定例会、臨時会、特別委員会の議事録ならびに常任委員会の報告書は、
 月形町ホームページ > 議会 > 議会のうごき で公開されています。
 上記の議員活動について、詳しい内容と感想などをブログ「ゆみこの日記」で公開しています。

今後の予定(主なもの)

- ・10月30日~11月1日 道内視察(厚沢部町、黒松内町方面)
- ・11月6日 総務民教常任委員会(9:30~委員会室:旧知来乙小跡地利用、町立病院の運営状況)
- ・11月9日 産業建設常任委員会(9:30~委員会室:観光振興、地産地消の取り組み状況)
- ・11月15日 北海道市町村合併シンポジウム in 旭川
- ・12月中旬 定例会

編集後記

10、11月の議会は視察や委員会などの予定が数多く入っていて、様々な分野の調査研究を行っています。また個人的には「議会改革」や「まちづくり」への取り組み、12月定例会一般質問に向けての準備も始めています。
 秋の夜長は物事を考えるのに丁度いいですね。巡り合わせや機会を充分活用して、より深く問題の本質に迫りたいと思います。次回の「ゆみこの議員活動報告書」をどうぞお楽しみに。

ゆみこの 議員活動 報告書

2007.11.1

2

発行 宮下裕美子(月形町議会議員)
 樺戸郡月形町市南1 TEL・FAX 0126-53-2611
 メール mail@yumiko3.net
 ホームページ http://www.yumiko3.net/
 ゆみこの日記 http://www.yumiko3.net/blog/

西風の日が多くなり、大地が白い布団を被るのももう間もなくですね。みなさん、冬の準備はお済みですか?

次の命を育むために生き物みんなが英気を養うこれからの季節、私も新しい「発想の種」を見つけるために、精力的に行動したいと思っています。

第2号では8月に行われた各常任委員会と9月定例会の一般質問についてご報告いたします。特に一般質問「福祉センターの

建て替えについては力を入れて活動してきました。また町長から今後の方向性が示されましたので、ぜひご覧ください。



常任委員会活動報告

常任委員会は通常、定例会と定例会の間(年4回程度)に、所管事務調査(調査事項の実態を把握、検討し、取るべき対策なり政策を究明して結論を出すこと)を行います。自由なやり取りの中で、問題点をじっくり検討しています。

なお、常任委員会は通常、役場3階の委員会室で行われ、傍聴することができます(日程は議会事務局にお問い合わせ下さい)。また調査内容は「報告書」として、月形町公式ホームページ(議会>議会のうごき)や、町民サロンで公開されています。

総務民教常任委員会(8月10日)

各公共施設の管理運営状況について
 ・担当者より現況報告。
 その後 印の地点を現地視察。
 福祉センター 防災備蓄倉庫
 土地開発公社所有地 篠津山火葬場
 月形昭栄の里 中和交流センター
 教職員住宅 円山総合運動公園
 ・いずれの施設においても適切な管理運営状況であること、現地調査で現況や問題点、改善点などを確認し、委員全体の共通認識ができました。

福祉センターの建替計画の経過について
 ・担当者より経過説明。
 ・委員(議員)から財源、建て替えの目的・用途について指摘があり、活発なやり取りがなされました。

産業建設常任委員会(8月13日)

平成19年度建設工事等概要について
 ・担当者より、建設工事の発注および進捗状況の説明。
 産業課所管施設の管理運営状況について
 ・担当者より以下の施設について現況説明。
 月形町振興公社の事業概要
 町道、林道、河川等
 月形町営住宅
 集落排水処理施設
 その他
 ・温泉施設の排水処理に関する事項について活発な意見交換

この後、以下の地点の現地視察で説明事項の確認を行いました。
 はな工房外壁塗装等工事
 月形地区農業集落排水処理施設工事(皆楽公園内)
 農事会第一線道路改良工事
 新田線外1路線道路改良工事

9月定例会一般質問

9月定例会（平成19年第3回定例会）は9月11日～14日に開催されました。議事内容や一般質問主旨は「町報・花の里つきがた10月号」に掲載されています。より詳しい情報（定例会議事録、決算特別委員会議事録、各常任委員会所管事務報告書）は「月形町ホームページ＞議会＞議会のうごき」や、町民サロンで随時公開されます。

協働のまちづくりについて

質問・宮下

月形町では「協働」を実践しようと地域担当制などが進められていますが、住民生活では「行政の下請け」感が否めません。行政の縦割り感覚から、生活者の視点である横割りの発想が必要なのではないのでしょうか。

また、現段階で町民側から住民自治を進めるには限界があります。「協働」を実現するために、身近な問題から関連づける工夫とプランを提示、提供する必要があると考えますが、町長の考えをお聞かせ下さい。

回答・町長

「協働」を進めるにあたり、住民・行政・各種団体の役割分担と実行が必要だと考えます。昔から実践されている協働の良い例として消防団があり、最近では「農地水環境保全対策事業」など、それぞれ成果を上げています。

今後、出前講座やNPOとの協力など、様々な取り組みで住民意識を盛り上げ、かつ役場職員も頑張っていきたいと考えています。

《一般質問を終えて》

今回質問したいずれの項目も、事業の完成までには長い時間を要するものです。特に協働は、行政と住民とが時間をかけて育てていくものなので、変化の過程に注目していきたいと思います。

ホームページは、皆さんもぜひチェックしてみてください。皆さんのご意見がより良いものを創る手だてになります。

福祉センターは、建物（ハード）だけでなく、運用（ソフト）においてもノーマライゼーションが達成できるかを注意深く見ていきたいと思っています。

公式ホームページの活用について

質問・宮下

町の公式ホームページは住民への情報提供だけでなく、町の対外的なPR手段として有効ですが、現状では不十分であると考えます。

例：地図 近隣地図のみ、月形はどこにあるのか、どう行けばいいのか。
レイアウト 見たいページに

たどりつけない

また、月形から発信される様々な媒体（公共刊行物、トマト缶、農産物、個人のホームページ等）にアドレスやリンクが表示されていますが、そこから訪れた人に対して情報を提供できずにもったいないと感じます。

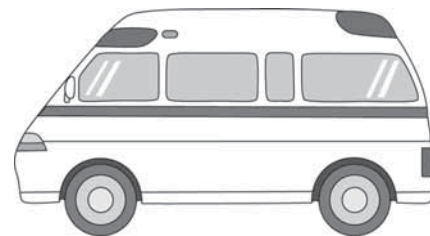
全国の「お客様」を意識したページ作り、町内観光のページ、町内産業とタイアップした企画など、発展させてはどうでしょうか。町長に今後の展開をお伺いいたします。

なお、「移住してみませんか？」のページは良くまとまっていて使い易いです。このようなページを参考にしたいと考えています。

回答・町長

ホームページの改訂は現在取り組んでいるところです。

月形消防署の救急救命のページは全国から問い合わせがあるほど好評で、他のページもより一層の改善に努めていきたいと考えています。



福祉センターの建て替えについて

質問・宮下

福祉センターの建替計画が進んでいますが、以下に示す月形町の現状で、福祉センターの建て替えは必要なのでしょうか。

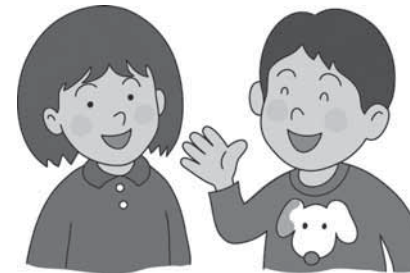
人口減（現在の人口は約4,000人、福祉センター建設当時の2/3に減少）

市街地中心部にはたくさんの公共施設がある（有効活用で現在のニーズを賄うだけの容量がある。6月定例会一般質問で指摘）

少子高齢化（今後の高齢者ニーズの変化、公共施設利用者減の可能性）

財政難（地方交付金の減少、経常収支比率の上昇、住民の税負担感増）

これらの状況をふまえた上で、福祉センター建て替えの主たる目的と、将来的な有効活用の方向性について、町長にお伺いします。



一般質問にはありませんでしたが、建設地は

- ・地形的に災害（水害）の影響の少ないところ
- ・他の公共機関、交通施設（駅、バス停）に隣接するところ
- ・一定の利用者駐車場、堆雪場が確保できること
- ・市街地形成（空洞化対策）の効果があること
- ・学童保育所と小学校の位置関係に影響が少ないこと

等の理由から、「市北6 旧長谷川建材店所有地」となりました。

回答・町長

福祉センターの建替計画は利用者要望が強いこと、今後の財政的制度改革および投資的公共事業の状況などを考慮して、議会のご理解のもと、今春から検討を進めています。

具体的には、人口減や少子化を勘案し、新・福祉センターに学童保育所を併設します（施設管理負担の大きい福祉センターと母と子の家を廃止し、新・福祉センターに統合）。これにより市街地にある公共施設は集約されると共に、将来にわたり必要な学童保育施設の整備を図ります。

高齢化では、今後在宅での介護等が増える方向性の中で、高齢者福祉の拠点となる施設が必要と考えられます。また、障がい者施設利用者や在宅障がい者に対しても、社会参加や自立支援を促進する活動拠点が必要と考えます。町内には現在、これらの実態に即した施設はありません。ノーマライゼーション（健全者と障がい者、高齢者等がお互いに特別に区別されることなく、一般社会で同じように、普通に生活できるようにするということ）を念頭に、本当の意味の「福祉センター」にしていく考えです。もちろん、文化活動や地域住民自治活動の集会施設であることも目的の一つです。

なお財政面では、行財政改革の成果も見えてきています。また、今回の事業に最も有利な「過疎対策事業債」が平成21年で終了予定であり、この時期からの検討が必要になってきました。

